

次世代流通情報インフラ調査（新規）

《未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち流通の効率化・高度化》
【36百万円】

対策のポイント

食品流通の効率化を支援する観点から、食品のフードチェーンの各段階における事業者が、商品管理効率の更なる向上等を図るため、ロット情報の取扱い等に関する次世代の流通情報インフラの利用について、ニーズや技術の調査・検討を行います。

<背景／課題>

- ・食品製造業者が製造した商品は、卸売業者、小売業者を介して消費者の食卓まで供給されています。
- ・商品の流通状況については、一部の事業者は完全にその入出荷を管理しているものの、多くの事業者は棚卸しや先入れ先出し等に多大な労力をかけて管理を行っており、非効率な側面も見受けられます。
- ・このため、食品製造業者から卸売業者、小売業者に至る事業者が、流通情報システムを利用して、効率的に商品管理を行うことが重要です。

政策目標

食品流通コストの削減による国産農林水産物の需要の拡大

<内容>

食品のフードチェーンの各段階の事業者が、流通情報システムを利用するニーズやロット管理の効率化を図るために必要となる手法及び技術について調査を行うとともに、調査結果に基づいた効率的な管理手法の検討を行います。

【定 額】

<事業実施主体>

民間企業等

<事業実施期間>

平成22年度

[お問い合わせ先：総合食料局流通課（03-3502-5741（直））]